

令和5年度第3回 幸田町地域公共交通会議 議 事 録

1 開催日時 令和6年1月15日(月) 14:00～15:30

2 開催場所 幸田町役場 4階 ホール

3 出席者

【委員】

区分	職名等	氏名	備考及び代理出席者等
学識経験者	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所工学科 教授	森川 高行	会長
	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授	松本 幸正	副会長
交通事業者等	愛知県タクシー協会岡崎支部 支部長（岡陸タクシー(株)）	浅岡 林平	
	幸田タクシー株式会社 代表取締役	葉賀 玲子	
	株式会社レミックス 代表取締役	池田 広史	
	町内交通事業者 運転手代表（(株)レミックス）	三浦 節夫	
住民・利用者	幸田町区長会 会長	内藤 節夫	
	幸田町商工会 会長	神取 勇	欠席
	幸田町老人クラブ連合会 会長	大嶽 弘	欠席
	幸田町身体障害者福祉協会 会長	加藤 雅敏	
	幸田町手をつなぐ育成会 会長	小山 興建	
	幸田町聴覚障害者福祉協会 会長	高橋 恵子	
行政	国道交通省 中部運支局 愛知運支局 首席運輸企画専門官	宮川 高彰	
	愛知県都市・交通局交通対策課 担当課長	石谷 義道	欠席
	愛知県 西三河建設事務所 維持管理課長	久田 安信	
	愛知県警察 岡崎警察署 交通課長	山口 幸治	代理出席 藤城 昌樹
	幸田町 副町長	大竹 広行	

敬称略

【事務局】

職名	氏名	備考
幸田町 企画部 部長	成瀬 千恵子	
幸田町 企画部 企画政策課 課長	柴田 淳一	
幸田町 企画部 企画政策課 主事	清水 総公	

【事務局補助】

職名	氏名	備考
株式会社 建設技術研究所	栗生 啓之	
株式会社 建設技術研究所	長谷川 正利	

4 会議次第

- 1 開会
- 2 協議事項
 - (1) 【第1号議案】幸田町地域公共交通計画（素案）策定について
- 3 その他
- 4 閉会

5 資料

- ・資料1 【第1号議案】計画策定に向けたスケジュール
- ・資料2 【第1号議案】幸田町地域公共交通計画（仮称）に対する指摘事項と対応
- ・資料3 【第1号議案】幸田町地域公共交通計画（素案）

6 議事内容

1 挨拶

（森川会長挨拶）

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。12月に計画書を回覧いただき、その対応を反映させて計画素案が完成しました。計画目標や主要施策について議論していきたいと思っています。また、採択いただいた計画素案でパブリックコメントの実施をします。よろしくお願いします。

2 協議事項

- ・事務局より資料1、資料2、資料3に基づいて説明

【質疑等】

委員：有償化を行うことがある程度定まっているのであれば、スケジュールを記載したほうがいいのでは。

事務局：前回の会議においても、有償化による利用者への一定の負担は同意いただいている。行うことになると考えられるため、記載を行う。

委員：えこたんバスのルート変更は確定なのか。

事務局：えこたんバスの利便性向上のためには、ルート変更が必要であると考えている。

委員：行うのであれば、ルート変更後に計画書にルートなどを追記するほうがよいと考えられる。

事務局：承知した。記載方法について検討を行う。

委員：ニーズ調査において、えこたんバスは9割ほどの人が利用していないことが見られるが、再編後はどの程度増えるか想定しているのか。

事務局：現在の福祉的な運用から対象者が増えるなどの変化が考えられるが、実際にどのようなル

ートになるのかは未定であり、想定も難しいと考えている。そのため、再編後に本会議にて審議していただきたいと考えている。

委員：現在の計画素案には、住民主体で実施することが少ないと感じる。共創などが現在トレンドにもなっている。坂崎コミュニティライドの実施主体へ地域団体や地域住民と明記するなど、計画書からも地域と共に交通を支えていく姿勢を示した方がいいのでは。

事務局：承知した。地域の方々にご協力いただいていくことになるので、意識していく。

委員：評価指標において、収支率や一人当たりの費用があるが、公共交通としては、費用を抑えることによるサービス水準の低下によって利用できない人を作るのは目的に反すると考えられる。表記を確認指標にするなど意味合いを少し変更した方がいいのでは。

事務局：公共交通のあり方については、意識して指標に縛られるのではなく、目的を果たした上で指標を達成できるように努めたい。

委員：施策③の枝番について、個別の施策は段階が一つ下がるため、表記の工夫が必要であると考えられる。また、各施策がどの目標に対応しているのか各ページに明記したほうがわかりやすいのではないか。

事務局：承知した。記載方法について工夫をしていく。

委員：評価指標の行政負担額等について、再編が行われる前では適正な値の算出は難しく、補助金に関わる事項についても、再編後になるため、現在時点で明記する必要は薄いと考えられる。また、毎年の進捗状況の確認事項としてアウトプットを利用することが想定される。

委員：有償化によって、えこたんバスの費用負担は必ず上がると考えられる。現在時点での明記は避けた方がよいと考えられる。

事務局：承知した。記載方法について修正を行う。

委員：免許返納者への優遇措置について、現在タクシーについてはタクシー協会にて独自で行っているが、2重で行うということか。

事務局：町が運営している交通事業において、有償化に伴い、優遇措置を行うことを想定しているが、具体的には未定である。

委員：ルート再編と有償化は必ずしも同じタイミングで行わなければならないわけではないため、ずらすことも考えられる。

事務局：ルート再編と有償化は関連性の高い施策であると考えている。相互に関係させながら進めていきたい。

委員：知識のない人が計画書を見ると、何が目玉なのかがわからない。

事務局：えこたんバスのルートの見直しと有償化であると考えている。

委員：概要版には明記をした方がいいのではないか。

委員：パブリックコメントの際には概要版も併せて発信すべき。

事務局：承知した。会長に確認を取りながら準備を進める。

委員：公共交通のPRについて、施策⑩ではなく施策⑪に記載した方がいいのでは。

事務局：承知した。記載場所について修正を行う。

・第1号議案の承認

3 その他

委 員：パブリックコメントは、町のホームページと役場で受付を行うのか。

事 務 局：お見込みのとおりである。

委 員：公共交通の対象とするべき高齢者から十分な意見を貰えるとは考えにくい。地元にて意見を募ることも必要ではないか。

事 務 局：想定はしていなかった。関係各所と調整を行い、実施していく。

4 閉会

事 務 局：委員の皆様におかれましても、お忙しい中お集まりいただき、また慎重に議論していただきありがとうございました。最後に、事務局長より挨拶させていただきます。

事務局長：本日は大変お忙しい中、幸田町地域公共交通会議に御出席いただくとともに慎重にご審議いただきまして、誠にありがとうございました。今回の議論を通して、住民の方々と共に公共交通を創っていくことの重要性について、改めて実感いたしました。今後とも、引き続き幸田町の公共交通につきまして、御意見をいただければと思っております。

事 務 局：以上をもちまして、令和5年度第2回幸田町地域公共交通会議を閉じさせていただきます。皆様、本日は大変お忙しい中、ありがとうございました。